

[成果情報名] 諫早湾干拓地における雨よけハウス栽培ズッキーニの経営評価

[要約] 雨よけハウス内でのズッキーニ栽培では、10aあたりののべ労働時間は348時間で、経費は510,200円、販売金額は655,854円となる。これにより期間中の人件費348,000円を賄え、さらに145,654円の所得が得られる。

[キーワード] 雨よけハウス、ズッキーニ、経営、人件費

[担当] 長崎県農林技術開発センター・干拓営農研究部門

[連絡先] (直通) 0957-35-1272

[区分] 総合・営農(干拓)

[分類] 指導

[作成年度] 2018年度

[背景・ねらい]

農業法人等の大型農業経営体において、労働力の確保は重要な課題である。特に作物栽培が少ない時期も含めた周年雇用体系の確立が必要とされている。諫早湾干拓地のレタス栽培経営体では1～3月収穫のハウス栽培レタスが導入され冬季の出荷の安定や作業者の労働環境改善に寄与しているが、3月以降気温が上昇しハウスレタス栽培が難しくなってくる。そのためレタスの栽培が減少する3月から次作レタスの作付準備が始まる8月において栽培可能な作物の選定や導入等が必要である。

そこで3月から6月までの雨よけハウスの活用として雨よけハウス栽培ズッキーニを導入した際の経営収支試算を行う。

[成果の内容と特徴]

1. 対象とする雨よけハウス栽培ズッキーニの概要は、3月中旬定植、4月中旬から5月下旬までの収穫体系でうね幅150cm、株間80cm、833株/10aの栽植密度である。
2. 10aあたりの作業時間は156.5時間、のべ作業時間は348時間となる(表1)。
3. ズッキーニ栽培にかかる10aあたり費用は510,200円となる。内訳は種苗費24,320円、肥料費2,030円、資材費41,250円、農薬費6,500円、動力光熱費7,000円、人件費は時給1,000円と仮定して348,000円である(表2)。
4. ズッキーニの販売単価が471円/kgの場合、生産物収入は1,130,400円となり、販売経費474,546円を差し引いた10aあたりの販売金額は655,854円/10aとなる(表3)。
5. 上記の条件での雨よけハウス栽培促成ズッキーニでは、期間中の人件費348,000円賄え、さらに10aあたり145,654円/10aの所得が得られる。

[成果の活用面・留意点]

1. 栽培試験で実測値以外の数値は長崎県農林技術基準技術(平成26年2月)かぼちゃ早熟(P.175-182)を参照した。
2. ズッキーニの単価は東京卸売市場の2016～2018年の各4月、5月のキログラム単価を使用し、販売経費は長崎県農林技術基準技術(平成26年2月)にがうり半促成(P.183-187)から、東京出荷のために運賃を1.5倍(227,500円)として計算した。
3. 農業機械やハウス等の固定費はハウスレタス栽培で計上することとし、ズッキーニでは考慮していない。

[具体的データ]

表1 10aあたりの作業時間

作業の種類	使用機械	組み作業 人員	実作業時 間	のべ作業 時間	備考 ^z
育苗	播種	1	1	1	
	管理	1	4	4	
本圃					
耕うん整地	トラクタ	1	4	4	
施肥	基肥	2	2	4	
	追肥	1	1	1	
定植準備	畦立て 管理機	2	1	2	
	マルチ 管理機	2	4	8	
定植		2	3.5	7	
管理作業	ホルモン処理	1	14	14	実測値から計算
	誘引他	2	8	16	実測値から計算
病害虫防除	動力噴霧器	2	5	10	
収穫		3	57	171	実測値から計算
調整		3	22	66	実測値から計算
出荷 ^y		1	20	20	
圃場片付け	トラクタ	2	10	20	実測値から計算
計			156.5	348	

z : 出荷作業ならびに実測値以外は基準技術 (H26.2月) かぼちゃ早熟の作業時間を引用

y : 出荷は期間中20回 (3日おきに実施) とし, 1回当たり1時間で計算

表3 販売金額

10aあたり総収量 ^z	kg/10a	3,145
販売量 ^z	kg/10a	2,400
商品果割合 ^y	%	76.3
単価 ^x	円/kg	471
生産物収入	円	1,130,400
販売経費 ^w	円	474,546
販売金額	円	655,854

z : 2017年, 2018年の2カ年平均値

y : 商品果は150g以上で曲がりや傷がないもの

x : 東京卸売市場 (H28~30年, 4,5月) の平均kg単価471円/kgを引用

w : 販売経費は基準技術 (H26.2月) にかぼちゃ早熟の費用から引用。運賃のみ1.5倍 (227,500円) で計算

表2 10aあたり経費(変動費)

費目	金額	備考
種苗費		
種子	15,120	1000粒
培土	9,200	培土4袋
肥料費	2,030	硫安
資材費		
マルチフィルム	12,600	4200円×3本
支柱他	28,650	支柱, トマトトーン
農業費 ^(注)	6,500	
動力光熱費 ^(注)	7,000	
小計	81,100	
人件費	348,000	348時間×1000円/時
合計	510,200	

z : 基準技術 (H26.2月) かぼちゃ早熟の費用から引用

耕種概要

播種 : 2月中旬、定植日 : 3月中旬、開花開始 : 4月上旬、収穫開始 : 4月中旬、収穫終了 : 5月下旬

施肥 : 基肥 (硫安 N-5kg/10a) 追肥 (5月上、下旬 硫安 N-1kg/10a)

ホルモン処理 : 開花に併せて、トマトトーン 50倍液を雌花に噴霧

栽植密度 : うね幅 150cm×株間 80cm 1条植え 833株/10a

ハウス規格 : 間口 6m 高さ 3.1m 長さ 20m APハウス

[その他]

研究課題名 : 環境保全型農業技術による安定生産技術の確立

予算区分 : 県単

研究期間 : 2016-2018年度

研究担当者 : 宮寄 朋浩